

## 「諦めるな！」

(福岡教育大学 教育学部 初等教育教員養成課程)

皆さん、こんにちは。今回合格体験記を書かせて頂くことになり、大変嬉しく思います。この合格体験記が、少しでも皆さんの受験勉強の参考になれば幸いです。

私のルーティーン、「それは展示ホールと同じ場所に座って勉強する」ということです。昼休みも放課後も、土日祝祭日も必ずその席に座って勉強しました。その席で勉強した理由は2つあります。1つ目は、勉強する習慣をしっかりと身に付けるという理由です。私は学習塾には行っておらず、家に帰ると気が緩んでしまい、机についてもすぐ居眠りをしてしまい、家での勉強は思うように捗りませんでした。そこで思案の結果見つけたのが、このルーティーンです。展示ホールの緊迫した雰囲気の中、いつもの席に身を置き、集中して勉強し、家に帰ったらすぐに寝る。この生活サイクルによって、翌日の授業にも集中して臨めるようになりました。

2つ目は、「自分の受験勉強は多くの人に支えられて成り立っている」と感じられたからです。先生方から「石田の指定席」と呼ばれていた席は、コモンホールから展示ホールに繋がる階段を上がって右側6席の最も階段よりの席でした。階段からは多くの先生方や生徒たちが上がってきます。お世話になった先生方や職員室に部室の鍵を返しにくる後輩、大運動会で同じグループで汗を流し合った仲間たち、すでに進路が決まっている同級生など、たくさんの人たちから激励の言葉を貰いました。「頑張れ！」。このたった一言で大いにモチベーションが上がり、本当に頑張ることができました。私に「頑張れ！」と声を掛けてくれた皆さん、本当にありがとうございました。皆さんも是非、自分なりのルーティーンを作ってみてはいかがでしょうか。

次に、私が後悔していることについて書きます。それは1、2年次の予習・復習についてです。私は、高校入学当初の1カ月間を除いて3年生になるまで、部活動を口実に予習・復習をした記憶がありません。今思うと、この1、2年次の不勉強がセンター試験直前まで私を苦しめた要因になりました。11月マーク模試では、第一志望校の福岡教育大学のボーダーラインに100点以上も届かず、合格は絶望的でした。そこで一念発起し、ようやく予習→授業→復習のサイクルに本気で取り組み始め、復習では完全に理解できるまで徹底的にやり直しました。その効果あってか、得意教科の成績が更に伸び始め、苦手だった教科も克服できるようになりました。皆さんは早速、この予習→授業→復習のサイクルの確立に取り組んでください。

もう一つ私が後悔していることがあります。それは部活動引退後、受験モードへの切り替えを上手くできなかったことです。私は野球部に所属していました、引退するまでは完全下校時間ぎりぎりまで練習していたので、引退後はこの練習時間を受験勉強時間に充てればよいと漠然と考えていました。しかし、1、2年次の勉強不足が祟って、何から手をつけ

ばよいかもわからず、部活動の練習よりも受験勉強の方が苦痛で、いたずらに日々を過ごし、気付けば大運動会。さすがにタイムリミットと思い直して奮起するも、模試の結果に意気消沈したとしても切り替えに失敗。ここで皆さんに伝えたいことは、高校生活の節目節目での切り替えがとても大切だということです。皆さんには、私のように第一志望校に合格できないのではないかと不安や焦りを持って勉強して欲しくはありません。私の二の舞にならないように、部活動引退→受験モード→大運動会→受験モードとメリハリとつけた高校生活を送ることを意識してください。

最後になりますが、第一志望校を安易に諦めないでください。諦めてしまうのは簡単ですが、生涯後悔すると思います。私も何度も心が折れそうになりましたが、先述したようにルーティーンのお陰で何とか第一志望校に合格することができました。諦めなくて本当に良かったと心から思っています。最後まで読んで頂き、ありがとうございました。後輩たちよ、「諦めず、最後まで頑張れ！」。